

中央地区審判研修会

<日程> 2025年8月24日
<場所> 水戸朝鮮学校
<参加者> 7名
・中央地区審判員2級5名、3級2名

<研修会スケジュール>

9:30～10:00 受付、開会
10:00～12:00 プラクティカルトレーニング(担当SI2級金氏)
・セットプレーのマネージメント
・ペナルティエリア内or外のファウルの判定→PK
12:00～13:00 昼食休憩
13:00～15:00 座学(担当SI2鈴木昌氏)
15:00～16:00 SI3・新SI3・SI2による座学(高輪・小野瀬氏・金氏)



(プラクティカルトレーニング)

朝鮮学校サッカー部の方々に協力をしていただき
プラクティカルトレーニングを行いました。

1セットプレーのマネージメント

ファウルがあったと想定して、選手の方々に色々な
シチュエーションを演じてもらい、審判員がどうすれば
いいかを対応する。

2ペナルティエリア内or外のファウルの判定→PK

ペナルティエリア付近で選手同士で手を使う等をして
もらい、審判員がファウルかノーファウルかを判定。



(座学)

午後からは引き続き挑戦学校内教室を借りて座学を
行いました。

座学では鈴木氏が用意した映像を見て皆で議論を
しながら進めていきました。

今回は近くで見ていた主審が遠くで見ていた副審・
四審の意見をどこまで採用するかといったことで
議論を進めていきました。

他にも25/26年度から開始されるゴールキーパーのボール保持による8秒カウントのことや、自身の
ジェスチャーによって起こった問題、ゴールまで距離がある時のファウルのDOGSOかSPAか等の
講義を行いました。

参加者からは座学で話を聞ける機会が今まで少なかったこと、先輩レフェリーの実体験から得た学び
を聞く機会がなかったので勉強になったなどの声がありました。

来年度以降参加者を増やしながら中央地区並びに茨城県全体のレフェリーの意識向上に繋がられ
たらと思います。

最後になりましたが、関わっていただいた全ての関係者各位に御礼申し上げます。

(文責:審判委員会 高輪 宗大)